

## 「高度医療・人材育成拠点」公募型建築プロポーザルの実施について

### 1 要旨・目的

全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・派遣する機能を持つ「高度医療・人材育成拠点」（新病院）を整備するにあたり、豊富な経験及び高度な発想力・設計能力を有する設計者を広く募集するため、公募型建築プロポーザル方式により設計者の選定を行う。

### 2 現状・背景

- (1) 高齢化に伴って、医療ニーズが高まる一方で、労働力人口が減少し、医療を支える人的資源が縮小するとともに、多数の症例や研修体制が充実している大都市圏の病院に若手医師や研修医の集中が加速することで、県内の医師不足が顕在化することが見込まれる。
- (2) 中山間地域においては、地方の基幹病院の医師不足により、サービス供給停止・縮小を余儀なくされ、都市部に比べてより速く、医療基盤の維持が困難になることが予想される。
- (3) 「高度医療・人材育成拠点」（新病院）の整備に向けた「高度医療・人材育成拠点基本計画」を令和5年9月に策定した。

### 3 概要

#### (1) 対象建築物

- ア 対象建物 高度医療・人材育成拠点  
 イ 所在地 広島市東区二葉の里三丁目1番1  
 ウ 敷地面積 26,137.75 m<sup>2</sup>  
 エ 施設規模・概算事業費

施設名	延べ面積	備考	概算事業費
新病院棟	約96千m <sup>2</sup>	1000床	約850 ～950 億円*
立体駐車場	約18千m <sup>2</sup>	現JR広島病院を改修	
その他施設等	約1千m <sup>2</sup>	院内保育所、駐車場渡り廊下、HIPRAC上空通路等	
合計	約115千m <sup>2</sup>		

\*新病院等整備費及び既存棟駐車場改修費等で、建築資材・人件費などの原価高騰、物価上昇等による変動幅を見込む。

オ 事業内容 基本設計・実施設計

#### (2) プロポーザルの概要

広島県附属機関設置条例（平成26年広島県条例第3号）に基づき、「広島県建築設計者選定委員会高度医療・人材育成拠点審査部会」を設置し、審査を行う。

#### 審査体制〔審査部会委員〕

外部委員・内部委員別に五十音順

委員区分	氏名	役職等	備考
外部委員	井本 健一	公益社団法人 広島県建築士会 会長	建築施工
	河合 慎介	京都府立大学 大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻 建築計画学研究室 教授	建築計画 (部会長)
	小菅 瑠香	芝浦工業大学 大学院 理工学研究科 建築学専攻 建築計画研究室 准教授	建築計画
	田妻 進	JR広島病院 病院長	医療看護
	堀江 玲子	JR広島病院 看護部長	医療看護
内部委員	石橋 里美	県立広島病院 看護部長	医療看護
	板本 敏行	県立広島病院 病院長	医療看護
	川島 満	広島県土木建築局 建築技術担当部長	建築行政
	福永 裕文	広島県健康福祉局 医療機能強化担当部長	医療行政

(3) スケジュール

日 程	内 容
令和5年11月11日	第1回審査部会開催（評価基準、評価要領を策定）
令和5年11月24日	プロポーザル公示
令和5年12月中旬	第2回審査部会開催（技術提案書の提出者を選定）
令和6年3月上旬	第3回審査部会開催（ヒアリング等を実施し、設計者を特定）
令和6年3月下旬	設計業務委託契約締結

【新病院開院までの流れ】 ※ スケジュールは、現時点の想定



(4) 参考業務規模（基本設計・実施設計）

約15億円（税込み）

(5) 付近見取図

